

「恋人の聖地」人気



人気を集める「ふたみ
シーサイド公園」
—愛媛県伊予市

沈む夕日に愛を誓う

日本の夕日百選の一つに選ばれている瀬戸内海伊予灘に面した愛媛県伊予市の「ふたみシーサイド公園」が恋人たちの人気を集めている。夕日の落ちる海を一望できる階段式の護岸や2人で祈ると願いがかなうとされる石のオブジェ……。5年前には「恋人の聖地」に認定され、年

約3000組が訪れる名所になっている。

公園は1995年に当時の^{ふたみ}双海町（現・伊予市）が建設。公園の西側の一角に「恋人岬」と呼ばれるスポットがあり、高さ約4mの御影石のオブジェが建っている。オブジェの中央には直径約50cmの穴が開いており、夕日が穴に重なる春分と秋分の日恋人2人で祈ると願いがかなうとされ、夕暮れ時には恋人たちでにぎわう。

2008年に静岡市のNPO法人

が地元で愛されているロマンチックなスポットとして全国109カ所ある「恋人の聖地」の一つに認定。公園の池田武夫所長（68）によると、月に15～20組のカップルが結婚式の写真撮影をするほか、式を挙げる人もいるという。

東京都八王子市から初めて訪れたという大学生の谷川龍史さん（22）は「風景がきれいなだけに普段より彼女がよりかわいく見えた」と恥ずかしそうに話した。